

むつ市と共催で平成24年度育樹祭を開催

下北森林管理署

6月14日(木)に、身近な自然である森林の働きや緑化の大切さについて理解を深めていただくため、参加者を公募し、間伐等の作業を通じて森林とのふれあいの場を提供する育樹祭を開催しました。

当日、むつ市奥内小学校5・6年生の生徒さんはじめ、フォレストボランティアや緑のオーナー、林業事業者等92名が参加し、署からの保育の重要性の説明や県民局が行った森林教室等に耳を傾けていただきました。

作業後の林内はすっかり明るくなり、作業前との変化は一目瞭然で、参加者の皆さんは保育作業の効果を実感していました。特に小学生は、鋸作業に悪戦苦闘していましたが、その分、木がうまく倒れた時の達成感はひとしおで、「自分の育てた木を将来見にきてみたい」などの声が聞かれるなど、参加者の皆さんには、署の仕事や森林の大切さへの理解を深めていただくことができました。

